



…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:72 平成20年4月15日

…つばやきサロン…

「英彦山お潮井採り空間」を描く

北九州市から南に20キロ下った、^{ほらい}祓川河口の^{くつお}行橋市沓尾海岸。周防変成岩の岩が連なるこの浜に、「姥が懐」という小さな窟があります。2005年の夏、この浜を埋め漁港道路が建設されることになりました。小倉生まれで行橋育ちの私にとって、この浜は遊んで育った「ふるさとの浜」。この浜の景観を守るために、行橋の仲間たちと走り回って2年半の年月が流れました。



この浜は千年続く「英彦山お潮井採り」の聖地。窟は山伏の祈りの場です。毎年2月の末日、英彦山から今川、^{ほらい}祓川を下り、山を清める潮を採りに、この浜にやってくる山伏の伝統行事が、現在も英彦山神宮によって受継がれています。お潮井採り道中の村々では、「やんぶしさん」とよび、接待座でもてなし、無病息災と五穀豊穡を祈念してもらう「絆」が、千年の時をこえて今も息づいています。

活動の成果として、浜の一部保全はできたものの景観は大きく変わってしまいました。だからこそ、この浜で受継がれてきた「お潮井採り」の意味をわかりやすく次世代に伝え残したい！今回福岡県の助成を受けて制作したのが「英彦山お潮井採り空間マップ」です。

鳥の眼になってマップを描く作業は、楽しいけれど難行苦行。何度も何度もお潮井採り道を辿り、その風景の印象をスケッチし、体に焼付けます。文献を読み込み土地の由来を知ると、風景は時間軸をこえ生き生きと語り出します。25000分の1の地図をもとに、南は英彦山、東は行橋、西は小倉までの広範囲を等高線をおこし、山、川、海、山伏、里人、生物の情報を半年がかりで描きこんでゆくと、水分りの山霊峰英彦山を中心とした北部九州の風景が浮かび上がってきました。このマップづくりのために、たくさんの人のお話しを伺い協力して頂きました。マップづくりで生まれた、新たな「お潮井採り」の絆を、育ててゆきたいと思っています。

北九州インタープリテーション研究会 原賀いずみ

第77回・サポートセンターの日/2008・3・25

～専門家集団でつくるNPO活動～

小倉南区合馬竹林にて



特定非営利活動法人NPO財務研究会 理事長 小宮 徹さん

NPOにとって、共通して大切なものが財務です。私達公認会計士や税理士が持っている専門知識を活かして、NPOの財務、経営に関する支援をしたいという思いから、2007年1月に「特定非営利活動法人NPO財務研究会」を設立しました。

現在、特定非営利活動法人、任意のボランティア団体などに対して、相互情報交換を支援するとともに、財務、経営に関する研究及び情報提供事業や財務に携わる人材の教育研修事業等を中心に活動しています。

今日は「NPOのためのやさしい税金」と題して税金について簡単にお話したいと思います。

税金には、①所得にかかる税金（法人税・所得税）、②消費にかかる税金（消費税）、③資産にかかる税金（相続税、固定資産税）の3種類があります。そのうち、NPOにとって重要なのが法人税です。

法人税について簡単に説明しますと、まず、収益から費用を引いたものが「利益」で、その「利益」から申告調整を行った後の金額が「所得」です。法人税は、この「所得」に対してかかる税金で、税法で定められた税率をかけて算出されることとなります。

ちなみに、税務調査の際に、税務署が特に目をつけるポイントというのがあり、それは主として①収益を隠していないか、②架空の費用を計上していないか、③公私混同をしていないか、の3点です。

NPOにとって、財務は線路のようなもの、脱線せずに進行していくためには、先ずは帳簿組織をしっかりとすることが肝要です。さらに収益と費用の根拠をしっかりと証明できるかどうかということも重要になってきます。

今回は、税務についてほんのさわりだけをお話させていただきましたが、当団体では、NPOの皆さんのために、定期的な勉強会（参加料無料）を開催しています。皆様のご参加をお待ちしています。



特定非営利活動法人自然再生機構 理事長 水野 貞明さん

今日、地球温暖化やオゾン層の破壊、森林伐採や砂漠化の問題など、地球規模での環境問題が年々深刻さを増しています。こういった環境問題の中には、私たちが日常関わっている緑化に関する分野も多く見られます。私たちは、樹木に永年関わってきた専門家集団として、また樹木診断・治療、ピオトープ活動等を通して取得した知識、技術、経験を活かすことにより、過去に損なわれた自然環境を取り戻したいと決意を新たに、「特定非営利活動法人自然再生機構」を設立しました。2007年4月に法人認証を受け、活動を始めてまだ11ヶ月目の団体です。

今までの主な活動としては、大きく分けて①「里山の再生に向けての候補地選び」と②「生物多様性の確保に関するセミナー、講座、イベント等の開催」の2つです。

①の里山の再生においては、「棚田の活用」として、昨年7月に小倉南区合馬地区の棚田を視察、意見交換の後事業を決定し、草刈り作業を開始、9月に湧水を利用したピオトープ池の掘削作業、12月に果樹苗の植付け、今年3月にどんぐり収集と播種作業、併せて子どもの環境教育の場の提供を行いました。また「竹林の活用」としては、今年3月に同じく小倉南区合馬地区の竹林を視察、事業を決定し竹林の再整備を開始しています。

②の「生物多様性の確保に関するセミナー、講座、イベント等の開催」ですが、昨年11月（社）北九州緑化協会との共催で、「都市と自然の共生」シンポジウムを開催しました。また、板櫃川・水辺の楽校プロジェクト、湯川小学校での即席ミニ出前授業を行いました。ミニ出前教室は大変好評で、今後も北九州全域でこのような環境教育を実施していきたいと思っています。

今後も幅広く分野を越えた情報ネットワークの拠点として、よりよい自然環境保全、生物多様性回復を目指し、自然と共生する社会の実現に向けて活動を展開して行きたいと思っています。

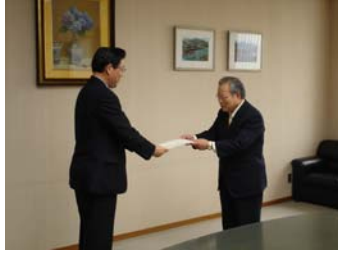
お知らせ

…… 北九州市市民活動促進検討委員会による

最終報告が取りまとめられました……

2008・3・27

市長へ報告書を
手交する山崎委員長



市における市民活動支援策のあり方等について1年間検討を行ってきた同委員会が、最終報告を取りまとめ、「市民活動の促進に関する報告」として北橋市長へ提出しました。この報告書には、今後北九州市が取り組むべき具体的な支援メニューなどが提言されてます。(詳しくは北九州市ホームページをご覧ください。)

情報のひろば

イベント・ボランティア

2008年度 北九州市手話・コミュニケーション講座 ～手話を習ってみませんか?～

- 日時：①午前の部
5月12日(月)～翌年3月
毎週月・随時第4木曜日
10:00～12:00(120分)全44講座
- ②午後の部
5月13日(火)～翌年3月
毎週火曜日
18:30～20:30(120分)全44講座
- 場所：①北九州市生涯学習総合センター
(小倉北区大門1-6-43)
- ②八幡西生涯学習センター
(八幡西区相生町19-1)
- 対象者：北九州市内に在住・通勤する20歳以上の方
- 定員：40名(定員になり次第締切)
- 受講料：無料(テキスト代実費)※筆記用具は各自持参
- 申込：氏名、性別、年齢、住所、電話番号、希望会場を記入の上、下記事務局へFAXか電話で
- 申込・問合せ先：特定非営利活動法人
北九州市聴覚障害者協会事務局
TEL・FAX：093-881-0114
※手話通訳者レベルアップ講座も同時募集中。
詳しい内容は事務局までお問合せ下さい。

第三回北九州市民サミット 参加者募集中!

- つなぐれ! 100万人の1歩!
- 「私達が活動を続ける理由(わけ)」
- 日時：4月19日(土) 11:00～
- 会場：若松市民会館
(北九州市若松区本町3-13-1)
- 問合せ・申込：北九州市民サミット2008
実行委員会
TEL：070-5532-5082(岩丸)
- FAX：093-562-5310
- E-mail：haru2020@jcom.home.ne.jp
http://www.kitakyushu.tv/~mojiko/2008_0419NPO/

省三先生のコミュニケーション教室

- より良い人間関係を築くために、ことばの大切さやコミュニケーションの大切さを一緒に学んでみませんか?
- 日時：5/17(土) 7/19(土) 9/20(土)
11/22(土) いずれも14:00～16:00
- 場所：TOTO(株)研修センター
TOTOショールーム 3階
- 参加費：1回につき1,000円
※当日は筆記用具をご持参ください。
- 定員：30人(定員になり次第締切)
- 問合せ・申込先：NPO法人
北九州市レクリエーション協会
TEL：921-2801
FAX：921-2802

助成金情報

★NPO公益活動支援事業(愛称：きらきら)

NPO法人などの市民活動団体が行う専門性を発揮した取り組みや先進的な事業に対して、事業費の一部を助成します。

- ★対象団体：北九州市内に主たる活動拠点を有するNPO法人、一定の条件を満たす市民活動団体。
- ★助成額：1団体あたり上限50万円
(助成対象経費の50%以内)
- ★応募締切：5月9日(金)(当日消印有効)
- ★北九州市総務市民局地域振興課市民活動支援係
〒803-0814
北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL：582-2111
<http://www2.kid.ne.jp/v-net/grant/zyosei/all.htm#5gatu-10>

★「サラリーマン(ウーマン)・

シニアボランティア活動助成」

社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、行おうとするサラリーマン(ウーマン)又は年齢60歳以上の個人・グループを対象に、活動支援を行います。

- ★対象の活動：①高齢者福祉②障害者福祉③こども(高校生まで)などに関するボランティア活動。
- ★助成額：総額600万円以内。(1件20万円以内)30件以内。
- ★募集締切：5月31日(土)(必着)
- ★財団法人 大同生命厚生事業団 事務局
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目2-1
大同生命大阪本社ビル内
TEL：06-6447-7101
FAX：06-6447-7102
<http://www.daido-life-welfare.or.jp/>
E-mail：info@daido-life-welfare.or.jp
(Eメールでの申込書の提出は不可)

NPO法人の申請・認証状況

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成20年3月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	236	228	—

2008年3月に認証された特定非営利活動法人

- 特定非営利活動法人ラ・ポール工房かなめ園
- 特定非営利活動法人女性ヘルプネットワーク
- 特定非営利活動法人照志樹
(3法人とも平成20年3月26日認証)

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成20年2月29日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	32,581	31,254	342
【福岡県】	1,162	1,121	1
内閣府	2,916	2,709	115
全国計	35,497	33,963	457

新しいスタッフです！！

リーフレットが
できました！！



新しいまちづくりに向けて
コミュニティビジネス

北九州市市民活動サポート
センターに置いてあります。
ご興味がある方はご自由
にお取りください。

高橋 幸弘 (所長)

趣味：温泉巡り・バドミントン・
山歩き

市民活動に係る仕事は初めてで
すが、気持ちを新たにして精一杯
取り組んで参りたいと思います
ので、よろしくお願いします。

高木 弘美 (スタッフ)

趣味：旅行・テニス

1人1人との出会いを大切に多
くのことを学び、成長していき
たいと思います。
どうぞよろしくお願いします。

吉田 幸二 (担当係長)

趣味：ドライブ・ゴルフ

メタボ予防のため、運動と栄養に
気をつけています！栄養のキー
ワードは、「地産地消」
地元で採れた旬のものをおいし
く食べたいですね。
どうぞよろしくお願いします。

原田 大裕 (専門相談員)

趣味：森にたたずむ、世界に思い
をはせる、落語、天気予報

「リコーダーを通して、人にも地
球にもやさしくなれる」を合言葉
に生きることのすばらしさを音
色とともに伝える活動をしてい
ます。よろしくお願いします。

北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相
談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促
進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日…毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00
日曜・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティーで仕切った無料の会議室。
※要予約

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

—利用時間— 月曜日～土曜日《10:00～21:00》
日曜日・祝日《10:00～17:00》
【休館日】4月24日(木)5月29日(木)

編集後記

新年度が始まりました。慌た
だしく時間が過ぎていきます。

先日、映画「風のダドゥ」を
観ました。心を閉ざし、“自分の
居場所”を探す少女が馬と触れ
合う事で次第に心を開いていく
お話です。観ているうちに私自
身も“自分の居場所”について
考えさせられました。

また、映画では阿蘇の大自然
が映し出され、美しい風景が印
象的でした。

時間に追われ、自分の居場所
を見失いそうになります。心に
余裕を持てる人でありたいと思
いました。 By. ち～☆